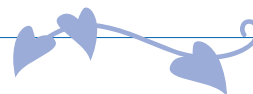
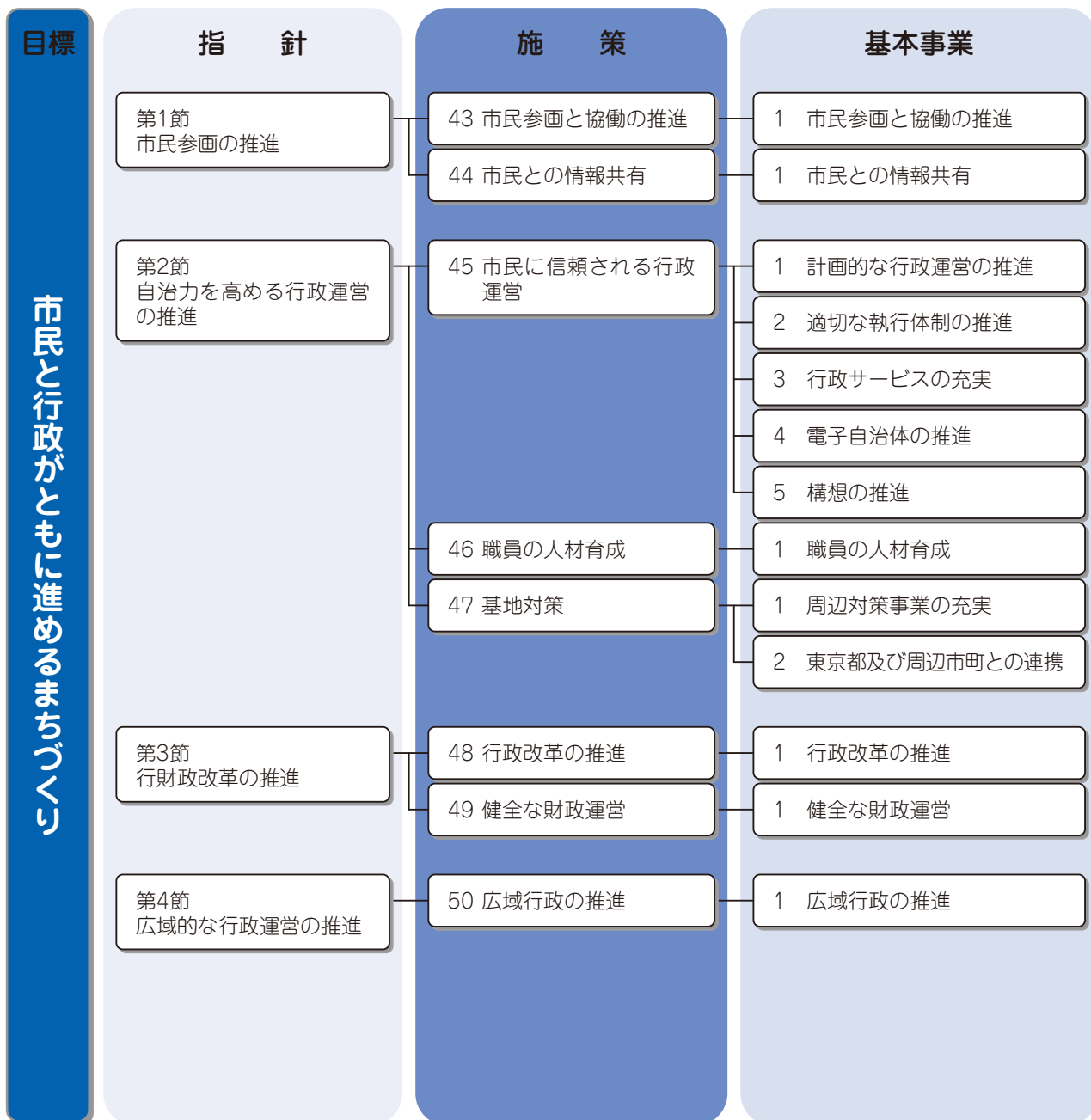


第7章 市民と行政がともに進めるまちづくり



施策の体系



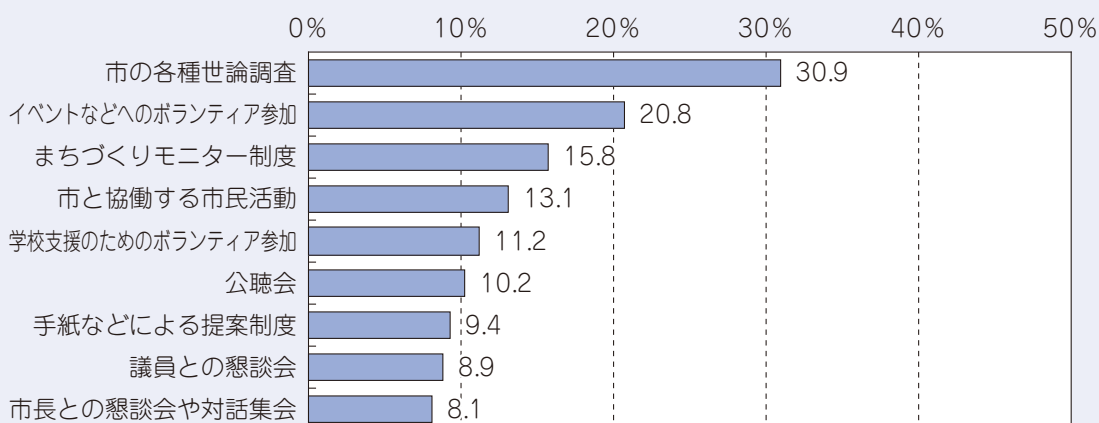
第1節 市民参画の推進

施策43 市民参画と協働の推進

現状と課題

- 市民の意思を尊重したまちづくりを進めていくためには、市民と行政の情報共有を徹底し、市民が政策形成段階から参加する機会を拡充し、市民のまちづくりへの思いを反映させていく必要があります。
- 社会状況の変化による様々な課題を解決するためには、市民、市民活動団体、企業や大学などと連携し、協働によるまちづくりを推進することが必要です。これまで、市民と行政の協働によりまちづくりを進めてきましたが、協働についてのお互いの認識や意識の隔たりがある場合があります。地方分権型社会をともに担うため、あるべき協働の姿を模索し、市民と行政が相互に確認していくことが必要です。
- これまでの公共サービスは、主に行政から直接提供されてきましたが、公共サービスの需要が増加する中、これからは行政だけでなく市民、NPOをはじめとする各種団体、企業や大学といった多様な主体が連携し、それぞれの役割と責任を果たしながら、ともにまちづくりを進めていく必要があります。

〔市民が望む市政参加方法〕



出典：「平成21年度福生市市政世論調査報告書」

施策の方向

市民や市民活動団体等と行政が協働、連携してまちづくりを行うための環境を整備し、市民自治の確立を図ります。

基本事業と取組

1 市民参画と協働の推進

- 基本計画、各分野別計画等の計画策定の際には、市民の意思を反映した計画とするため、事前に計画案を公表し、市民からの意見公募を行い計画へ反映させていきます。
- 各課題に対して市民会議、市民ワークショップ（参加者が自ら参加・体験して学ぶ研修会など）などを設けて検討するとともに、大学等教育機関との連携を推進し課題解決を図ります。また、市政世論調査、市民満足度調査などを実施し、市民等からの意見や調査結果を反映させたまちづくりに努めます。

成果指標

指標の内容		現状値	目標値 (平成26年度末)
指標1	市政に関心がある市民の割合	66.5% (H21)	73.0%

主な事業

基本事業	前期 (平成22～26年度)		後期 (平成27～31年度)
	主な事業（取組）	事業費（千円）	主な事業（取組）
市民参画と協働の推進	自治基本条例の制定		
	市民意見公募の実施		
	学術・文化・産業ネットワーク多摩との連携		
	市政出前講座（再掲）		



施策44 市民との情報共有

現状と課題

- 市民と行政の協働によるまちづくりを進めるには、市民と行政が相互に持っている情報を共有することが重要です。様々な機会をとおして、対等な立場のもと相互理解を深めることが必要です。
- 行政から市民への情報提供は、様々な方法でわかりやすく提供することが重要です。広報紙「広報ふっさ」は、市政や各事業などの情報を掲載し、市内全世帯へ配布しており、目の不自由な方のためにSPコード（文字情報を音声で聞くためのコード）を付け、また「声の広報」を提供しています。そして、各事業案内を掲載した「わたしの便利帳」及び「外国人のための生活便利帳」を定期的に発行し、転入者と希望する市民に配布しています。また、様々な行政情報などが閲覧できるように市役所内に情報スペース、中央図書館に地域資料コーナーを設けて情報提供に努めています。
- 市政情報は、ホームページや携帯電話でも提供しています。市のホームページでは、音声で読み上げることができるよう、情報のバリアフリー化に努めていますが、外国人が必要な情報を得られるよう、更に充実を図っていく必要があります。また、子どもたちを対象としたホームページを開設し、わかりやすい情報提供が望まれています。
- 市民の行政への意見や意向を把握し、まちづくりに反映するため、ホームページに「市民相談」、「市長への手紙」、「市民のご意見箱」等を設けています。また、市政世論調査を3年ごとに実施するとともに、市民と行政の情報共有、意見交換の場として、職員を派遣する市政出前講座を実施しています。

〔本項目に関連する市の関連計画（主要計画）〕

◇ 福生市IT活用推進計画

〔市政出前講座受講者数及び実施回数〕



出典：「福生市事務報告書」

施策の方向

市民参加によるまちづくりを推進するため、様々な方法で情報提供を行うとともに、市民の意向を把握し、市民との情報交流に努めていきます。

基本事業と取組

1 市民との情報共有

- 読みやすく、わかりやすい、「広報ふっさ」等の作成に努めていきます。また、ホームページの内容の充実にも努め、音声読み上げや多言語による情報のバリアフリー化や子どもを対象とした内容のわかりやすい情報提供を図っていきます。更に、携帯電話による情報提供サービスの充実にも努めていきます。
- 市の基本的な統計をまとめた市勢統計、現況等（概要）をまとめた市勢要覧を発行し、情報提供していきます。また、市役所庁舎内の情報スペースでの情報提供の充実を図っていきます。
- 各事業案内を掲載した「わたしの便利帳」及び「外国人のための生活便利帳」を発行し、転入者と希望者へ配布します。また、施策ごとにガイドブックなどを作成し、情報提供の充実を図っていきます。
- 市民ニーズを把握し、まちづくりに反映させるため、市政世論調査を定期的実施し、市政への市民満足度の把握に努めていきます。また、各課題を検討する際には、市民会議や市民ワークショップ、懇談会等の意見交換の機会を設けて十分な協議を行い、相互の理解を得るように努めて、市民主体のまちづくりを進めます。
- 市民が施策や事業への理解を深めることができ、また、行政が市民の意見を把握できる市政出前講座に、より多くの市民が参加できるよう内容の充実にも努めていきます。市長への手紙、パブリックコメント、ホームページのご意見箱など様々な方法により、市民意見の収集に努めます。

成果指標

指標の内容		現状値	目標値 (平成26年度末)
指標1	市政出前講座実施回数	38回 (H20)	45回



主な事業

基本事業	前期 (平成22～26年度)		後期 (平成27～31年度)
	主な事業（取組）	事業費（千円）	主な事業（取組）
市民との情報共有	「広報ふっさ」「声の広報」の作成	38,810	
	ホームページのリニューアル	7,104	
	市勢統計、市勢要覧の発行	2,430	
	「わたしの便利帳」、「外国人のための生活便利帳」の発行（再掲）	7,346	
	市政世論調査等	2,760	
	市長への手紙、ホームページご意見箱の実施	210	
	市民会議、ワークショップ、懇談会等の設置		
	市政出前講座（再掲）		

